4 OBD 検査結果を確認する

4.1 OBD 検査結果を検索する

OBD 検査や OBD 確認を実施した車両について、検査の判定日や車両情報などから OBD 検査結果を検索して確認できます。

また、検索した対象車両について OBD 検査結果の詳細も確認できます。

ご注意

OBD 検査結果には機密情報が含まれているため、取り扱いには十分注意してください。

メモ

検索条件として設定できる判定日の範囲は最大で 3 年間となります。

1. メニューの「OBD 検査結果参照」を押す

検索条件を入力する画面が表示されます。

上記の画面は、工員または検査員が本システムにログインした場合に表示されます。

管理責任者または統括管理責任者がログインした場合

以下の画面が表示されます。

メモ

事業場の名称を変更している場合、検索条件には現在の事業場の名称が表示されます。

ただし、OBD 検査結果の詳細については、判定日における事業場の名称が表示されます。

ご注意

- 管理責任者は、デフォルトで所属する事業場が表示されます。（事業場の選択は不要です。）
- 統括管理責任者は、プルダウンより管理する事業場を選択してください。

2.　「検査／確認」で、確認したい検査結果を選択する

ボタン	説明
すべて	OBD 検査、OBD 確認両方の検査結果を検索します。
検査	OBD 検査の検査結果を検索します。
確認	OBD 確認の検査結果を検索します。

3.　確認したい検査結果の判定日を指定する

判定日とは、OBD 検査判定日（検査を実施した日）です。

（カレンダーボタン）を押して、カレンダー表示から判定日の期間（開始年月日から終了年月日）を指定します。期間は、3 年以内で指定してください。

4.　必要に応じて、自動車登録番号または車両番号の下 4 桁（数字部分）および車台番号を入力する

自動車登録番号または車両番号は、車検証（自動車検査証）またはナンバープレートに記載されています。

- 車検証（自動車検査証）に記載されている自動車登録番号または車両番号の下 4 桁（1 桁～4 桁の数字）を入力します。
- 車検証（自動車検査証）に記載されている車台番号の数字や文字を、すべて入力します。

5.　「検索」を押す

表示件数は、 を押してプルダウンリストから選択できます。

《OBD 検査結果参照》画面が表示されます。

No.	項目	説明
①	ページ	検索結果が複数ページある場合、「＜」／「＞」または数字を押して、表示情報のページを切り替えます。
②	検査結果	検査結果の適合／不適合が表示されます。 メモ OBD 確認の場合、「適合」「不適合」の表示は、実際の検査結果とは関係ありません。
③	排ガス	排ガスの検査結果（MIL／レディネス／通信／特定 DTC）が表示されます。 MIL：ON／OFF レディネス：適合／不適合 通信：成立／不成立 特定 DTC：適合／不適合
④	安全	安全（特定 DTC）の適合／不適合が表示されます。
⑤	操作	「詳細」を押すと、OBD 検査結果の詳細が表示されます。 「■OBD 検査結果の詳細を確認する」（P. 33）を参照
⑥	簡易 CSV 出力	CSV ファイル「OBD 検査結果参照（簡易 CSV）」を出力します。 「4.2 検査結果を CSV ファイルに出力する」を参照
⑦	CSV 出力	CSV ファイル「OBD 検査結果参照」を出力します。 「4.2 検査結果を CSV ファイルに出力する」を参照

以上で、OBD 検査結果の確認ができました。各検査結果についての詳細を確認する場合は、

「■OBD 検査結果の詳細を確認する」（P. 33）を参照してください。

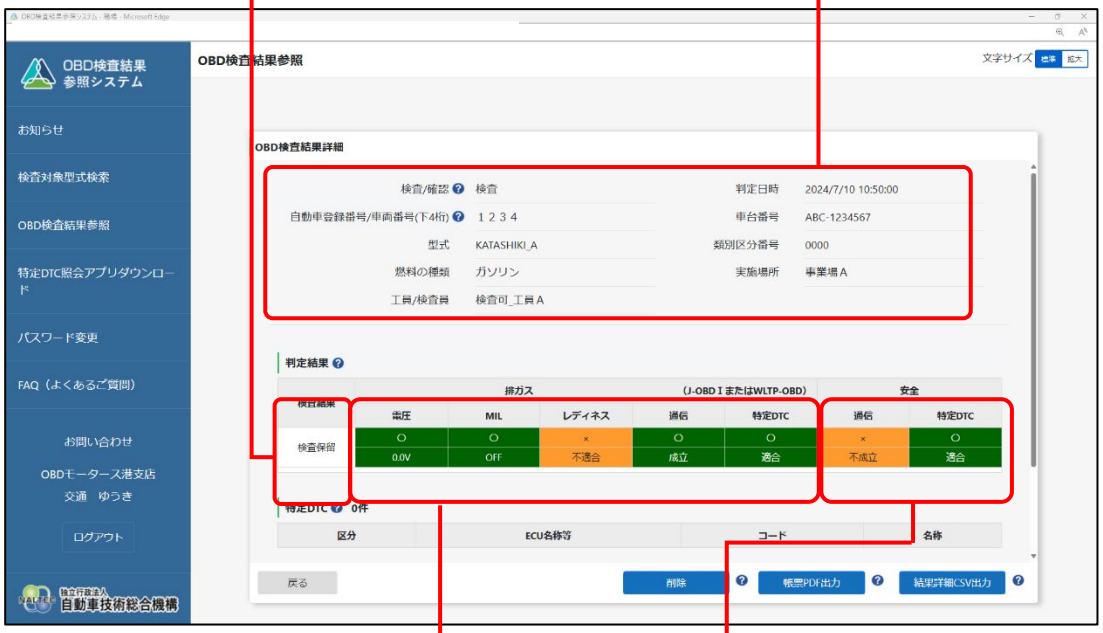
■OBD 検査結果の詳細を確認する

1.　《OBD 検査結果参照》画面で、確認したい検査の「詳細」を押す

OBD 検査結果の詳細や特定 DTC の情報などが表示されます。

検査の総合判定が表示されます。

検索した条件が表示されます。



排ガス（電圧／MIL／レディネス／通信／特定 DTC）の判定結果が表示されます。

- 緑色（〇）：適合
- オレンジ色（×）：不適合
- グレー：判定不可

安全（通信／特定 DTC）の判定結果が表示されます。

- 緑色（〇）：適合
- オレンジ色（×）：不適合
- グレー：判定不可

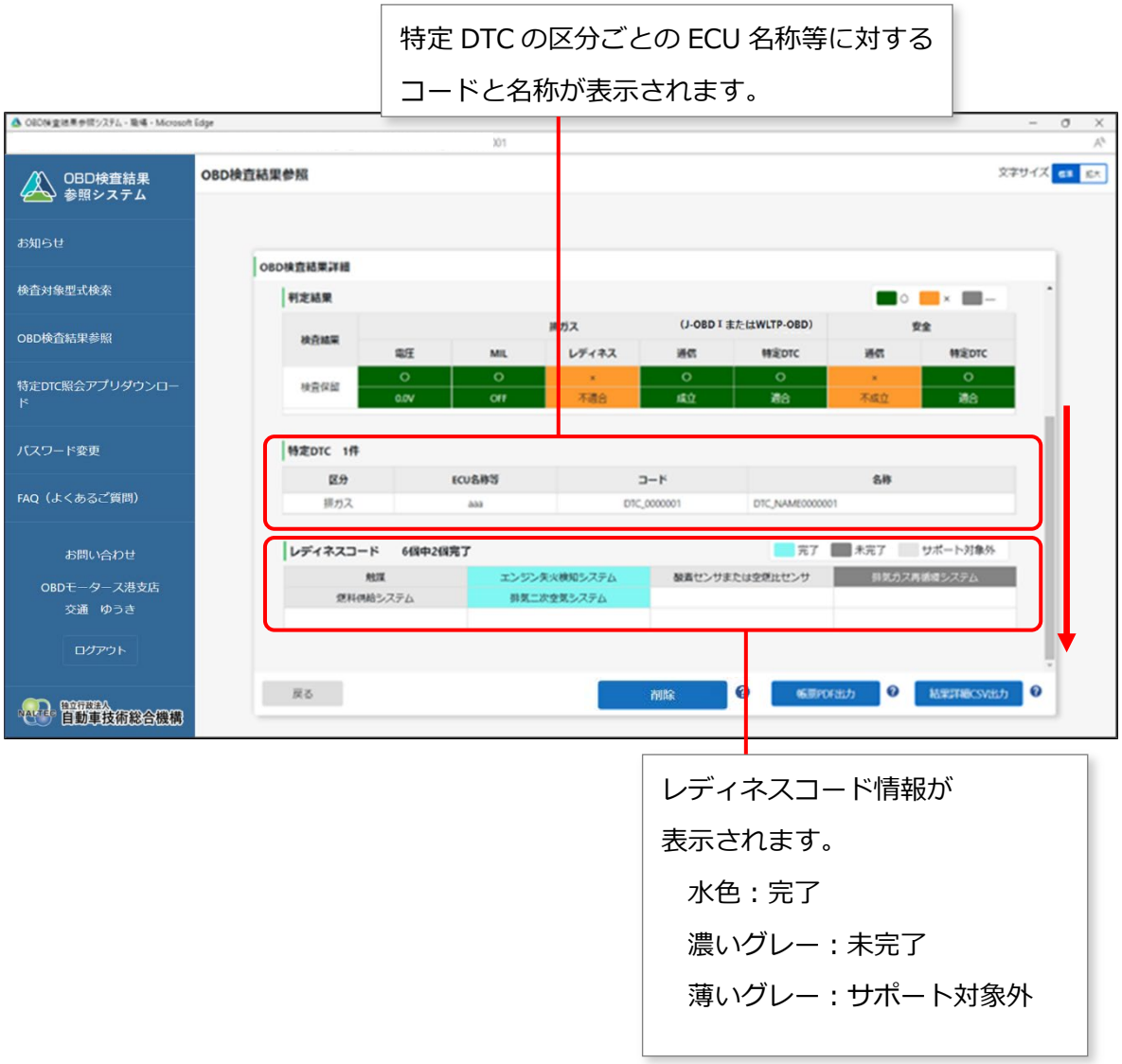
メモ

事業場の名称を変更している場合、検索条件には現在の事業場の名称が表示されます。

ただし、OBD 検査結果の詳細については、判定日における事業場の名称が表示されます。

画面を下にスクロールすると、「特定 DTC」や「レディネスコード」が表示されます。

「特定 DTC」では、検出された特定 DTC を全件確認できます。



以上で、OBD 検査結果の詳細確認の操作は完了です。検査結果を出力する場合は、

「4.2 検査結果を CSV ファイルに出力する」、「4.3 検査結果を帳票 PDF ファイルに出力する」に進んでください。

メモ

「削除」ボタンの使い方については、「5.8 検査結果を削除する」を参照してください。

4.2　検査結果を CSV ファイルに出力する

必要に応じて、OBD 検査結果の詳細を CSV ファイルに出力します。出力した CSV ファイルは、外部のシステムに取り込んで利用することもできます。CSV 出力には、以下の 3 種類があります。

種類	出力ファイル名	出力内容
簡易 CSV 出力	OBDRESULT_SIMPLE_[事業場 ID].csv	OBD 検査モードで実施した簡易的な検査結果（車台番号、判定日時、検査結果）が出力されます。 **ご注意** OBD 確認モードの結果は出力されません。
CSV 出力	OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID].csv	車台番号、判定日時、検査結果などに加えて、検査種別、排ガス OBD および安全 OBD の検査結果が出力されます。
結果詳細 CSV 出力	OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID]_[車台番号].csv	車台番号、受検日、検査結果などに加えて、検査種別、排ガス OBD および安全 OBD の項目についての詳細な適否や状態が出力されます。

メモ

CSV 出力の操作は、上記の種類すべてにおいて共通です。

ここでは、「結果詳細 CSV 出力」の操作を例に説明します。

1.　《OBD 検査結果詳細》画面で、「結果詳細 CSV 出力」を押す

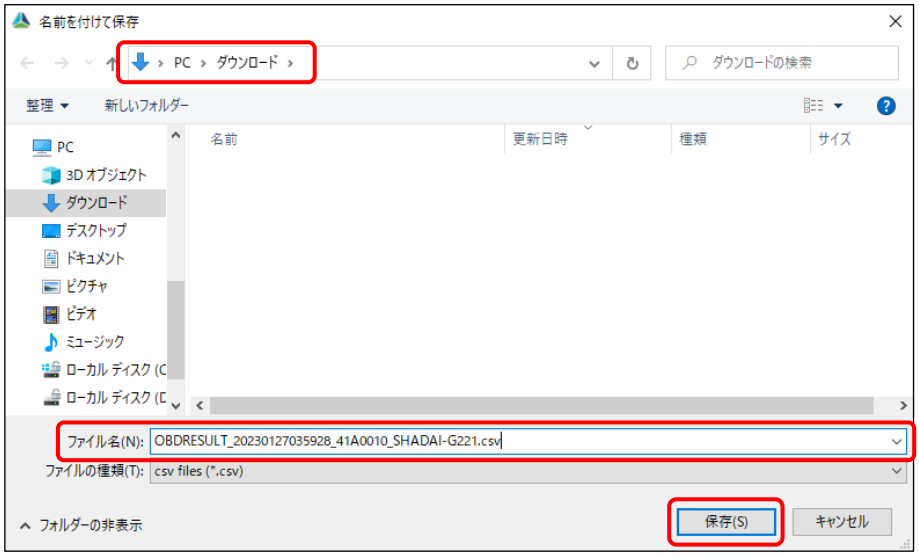
「ダウンロード」ダイアログが表示されます。

ご注意

出力に数秒時間を要します。連続で「結果詳細 CSV 出力」を押さないでください。

2.　「名前を付けて保存」を選択する

3.　保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_[事業場 ID]_[車台番号].csv」というファイル名で、OBD 検査結果の CSV ファイルが保存されます。

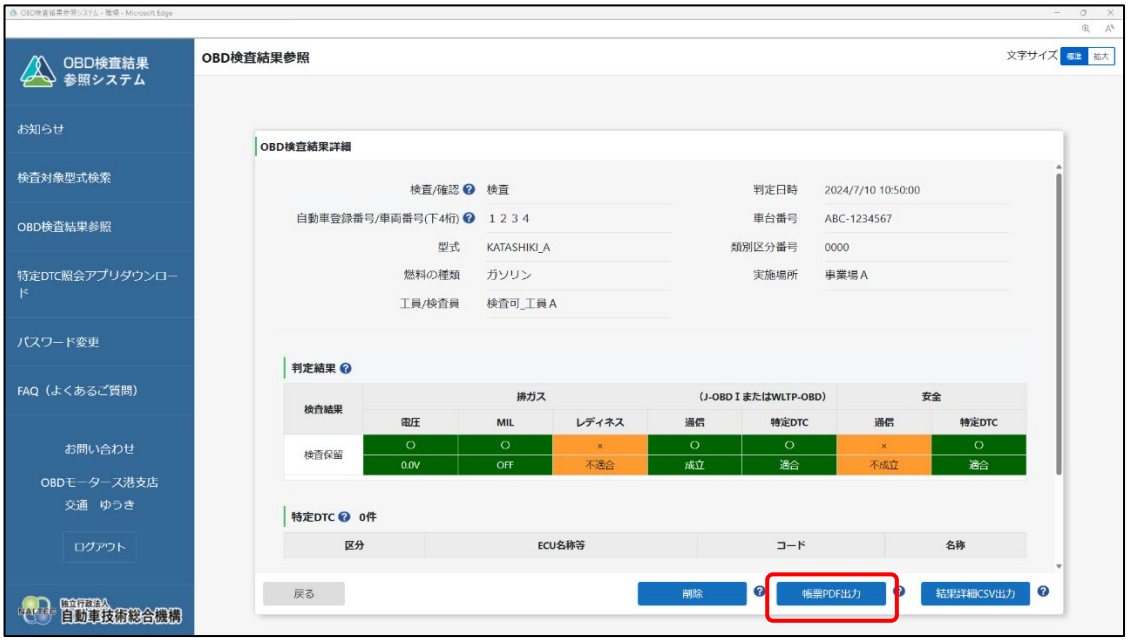
CSV ファイルには、車台番号、判定日時、検査結果など各情報の文字列が、カンマで区切られた状態で出力されます。

以上で、OBD 検査結果の CSV ファイルへの出力の操作は完了です。

4.3　検査結果を帳票 PDF ファイルに出力する

必要に応じて OBD 検査結果の詳細を PDF ファイルに出力します。出力した PDF ファイルは、印刷して受検者にお渡しできます。

1.　《OBD 検査結果詳細》画面で、「帳票 PDF 出力」を押す



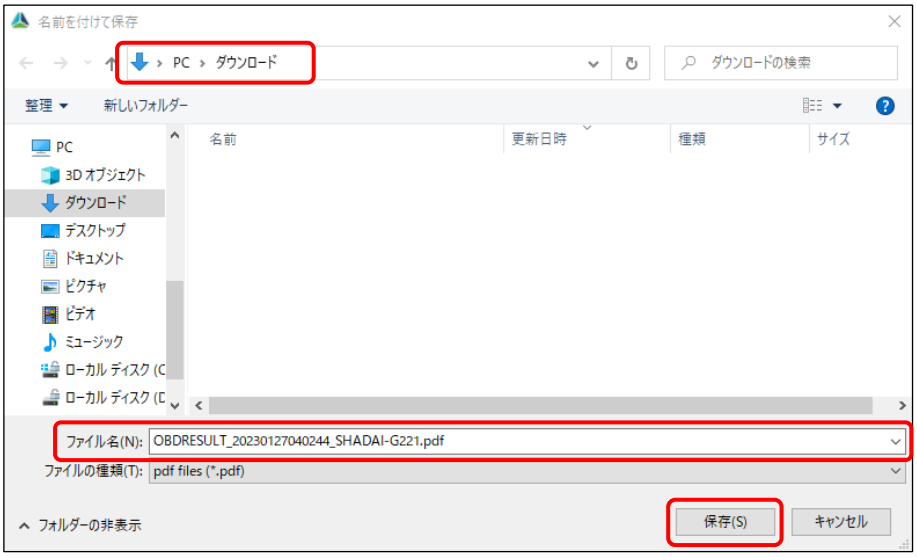
「ダウンロード」ダイアログが表示されます。

ご注意

出力に数秒時間を要します。連続で「帳票 PDF 出力」を押さないでください。

2.　「名前を付けて保存」を選択する

3. 保存先のフォルダーを選択し、「保存」を押す



「OBDRESULT_yyyymmddhhmmss_［車台番号］.pdf」という名前の PDF ファイルが保存されます。

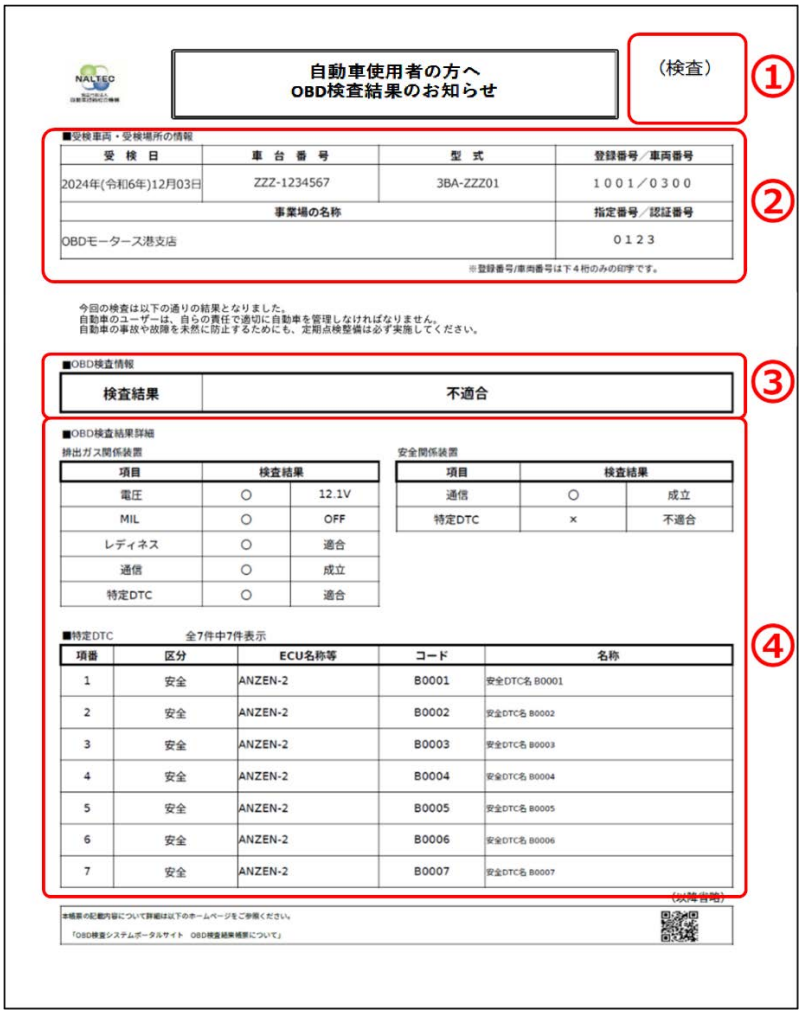
メモ

ファイル名の「yyyymmdd」は年月日、「hhmmss」は時間を示しています。

例）車台番号「ZZZ-1234567」の車両で、2024 年 12 月 03 日 14 時 01 分 12 秒に OBD 検査を実施した場合のファイル名は、以下となります。

OBDRESULT_20241203140112_[ZZZ-1234567].pdf

4. 保存された PDF ファイルを開く



No.	項目	説明
①	検査種別	実施したモードが表示されます。 検査モードの場合：（検査） 確認モードの場合：（確認）
②	受検車両・受検場所の情報	受検日や受検車両、受検場所などの、受検時の情報が出力されます。
③	OBD 検査情報	OBD 検査または確認の結果が出力されます。 適合の場合：適合 不適合の場合：不適合 OBD 検査不要で終了した場合：OBD 検査対象外
④	OBD 検査結果詳細	OBD 検査または確認結果の詳細が出力されます。 出力される項目は、「■OBD 検査結果の詳細を確認する」（P. 33）で表示される情報と同等です。

メモ

警告灯判定を行った場合、「排ガス」「安全」の欄外に”※警告灯判定結果”と表示されます。

以上で、OBD 検査結果の PDF ファイルへの出力の操作は完了です。